



▲小泉進次郎厚生労働部会長と

小泉進次郎 厚生労働部会長 とともに改革を前へ!!

自由民主党 衆議院議員

郷音 ひびき新聞

たばた裕明 ひろあき



どうもありがとうございます。緊張感のある日々でしたが、特に平成30年第196回通常国会では働き方改革関連法の成立が至上命題であり、私は国会答弁をはじめ中心となる役割を担わせていただきました。重圧も大きかったです。有意義かつ貴重な経験をさせていただき、政治家として成長することができて感じています。

—— 自民党厚生労働部会長代理
ご就任おめでとうございます。また、厚生労働大臣政務官としての一年二ヶ月間、本当にお疲れさまでした。在任中を振り返られていかがでしょうか。

平成30年10月28日に自民党政務調査会の厚生労働部会長代理に就任した田畑。厚生労働大臣政務官としての経験と実績を活かし、小泉進次郎部会長を直屬で補佐する。新たな任命を受けスタートを切った田畑が自らの思いを語った。

自民党厚生労働部会長代理に就任

facebook たばた裕明公式 FB 随時UP中!

最新の活動報告を公開中です。

部会の調整役として



▶厚生労働部会終了後に毎回記者ブリーフィングを実施

—— 党務に戻られて、衆議院では厚生労働委員会理事、自民党政務調査会では厚生労働部会長代理と、引き続き厚生労働行政において大変重要なポストにご就任なさいました。

国民生活に密接に関わる分野での仕事であり、改めて身の引き締まる思いです。特に自民党厚生労働部会では、厚生労働大臣政務官としての経験や、厚生労働省幹部との人間関係の構築を評価していただき、小泉進次郎部会長の補佐役を任されることとなりました。社会保障制度改革や少子化対策などの諸課題について、政府の政策

を党側から前に推し進めるべくしっかりと汗をかいてまいります。

—— 最後に、地元富山の皆様にメッセージをお願いいたします。

平成31年4月の「働き方改革関連法」の施行や外国人材の受け入れに関わる入管法の改正など、富山県内の労働・雇用環境も今後大きく変化してまいります。地元の皆様の「生の声」を直接お聞きしながら、制度の運用や環境整備に幅広く目を光らせ、政策を展開してまいります。今後とも何卒ご指導のほどよろしくお願いいたします。

各地の現場に出向く



- 平成30年7月豪雨で被害を受けた愛媛県宇和島市を視察
- 群馬県前橋市の「群馬県働き方改革センター」を視察
- 安心して働ける職場づくりに取り組む山形県南陽市の企業を視察
- 子育て支援を推進し、くるみん認定を受けた山梨県甲府市の企業を視察
- 福井県敦賀市の北陸新幹線敦賀駅工事現場を視察
- 栃木県宇都宮市で開催された第55回技能五輪全国大会を視察
- 富山大学附属病院にて高度救急医療の施設整備状況を視察
- 富山商工会議所にて役員の皆様と働き方改革について意見交換

日本政府を代表して海外へ出張



- ベトナムのハノイにて、スイエップ労働・社会労働兵省副大臣と会談
- ベルギーのブリュッセルにてティッセン欧州委員(大臣級)と会談
- 加藤勝信厚生労働大臣を支えて
- 日本で就労する外国人や外国人留学生との意見交換会
- 厚生労働省でのイクメンプロジェクト会議にて激励挨拶
- 公益社団法人 日本看護協会 通常総会開会式典にて
- 市区町村国民年金事業功績厚生労働大臣表彰式にてプレゼンターを務める

働き方改革 関連法の審議にて 安倍総理、加藤厚生労働大臣と共に答弁を担当!



- 衆議院厚生労働委員会
- 参議院厚生労働委員会
- 官邸での関係省庁連絡会議に厚生労働省を代表して出席
- 厚生労働委員会にて質疑に対し答弁
- 「全国過労死を考える家族の会」の皆様より要望を受理



- 加藤勝信厚生労働大臣を支えて
- 日本で就労する外国人や外国人留学生との意見交換会
- 厚生労働省でのイクメンプロジェクト会議にて激励挨拶
- 公益社団法人 日本看護協会 通常総会開会式典にて
- 市区町村国民年金事業功績厚生労働大臣表彰式にてプレゼンターを務める

厚生労働大臣政務官に平成29年8月から平成30年10月まで在任 働き方改革関連法などの成立に尽力!

たばた裕明 富山事務所 〒930-0017 富山県富山市東田地方町2丁目2-5 TEL 076-471-6036 FAX 076-471-6037

たばた裕明 国会事務所 〒100-8982 東京都千代田区永田町2丁目1-2 衆議院第2議員会館214号室 TEL 03-3508-7704 FAX 03-3508-3454

お問い合わせ、新着情報等はこちらまで!

公式サイト <https://www.tabatahiroaki.com/>

facebook <https://www.facebook.com/hiroaki.tabata.37>






▲国民起点PT会議 記者ブリーフィングにて

厚生労働行政の効率化に関する 国民起点プロジェクトチーム 事務局長に就任

国民目線で厚生労働行政の改革を

自民党厚生労働部会は11月、社会保障分野における行政サービスの向上を検討する「国民起点プロジェクトチーム（PT）」を立ち上げた。「厚生行政には国民に分かりづらい点が多い」という小泉進次郎部会長の発案から新設された下部組織で、座長には田村憲久元厚生労働大臣が就任し、田畑は事務局長を務める。初会合では、年金加入者に送られる「ねんきん定期便」の文字の大きさなど、ユ-

ザーである国民の立場に立った意見交換が行われた。司会を務めた田畑は、「元の皆様からも『手続きや制度が分かりにくい』という声をよく聞いた。今後は介護事業者の事務負担の軽減や出生時における行政手続き、年金制度の周知方法など、幅広い分野のさまざまな手続きにおいて実効性のある見直しとなるよう議論を深めていきたい。」と語った。

岸田文雄 政務調査 会長に 進言!



厚生労働部会 部会長代理として 社会保障改革の新たな局面に向けて 全力で取り組みます!

2040年を展望し、誰もがより長く 元気に活躍できる社会の実現を目指して

「高齢者の急増」から「現役世代の急減」へ

安倍総理が、今後3年間で社会保障改革を成し遂げる意向を示されました。現在の日本の社会保障はどのような局面を迎えているのでしょうか。皆様ご存じの通り、この数年で65歳以上の高齢者人口が急増しています。団塊の世代が全て75歳以上となる2025年を境に増加の流れは緩やかになりますが、その一方で今後は「15歳から64歳の生産年齢人口が急激に減少する」という新たな局面を迎えます。これまで進めてきた「給付と負担の見直し等による社会保障の持続可能性の確保」を図りつつ、この新たな局面に対応した政策課題を踏まえた改革の推進が必要であると考えます。

社会保障改革の 新たな局面と課題

「新たな局面に対応した政策課題」について詳しく教えてください。

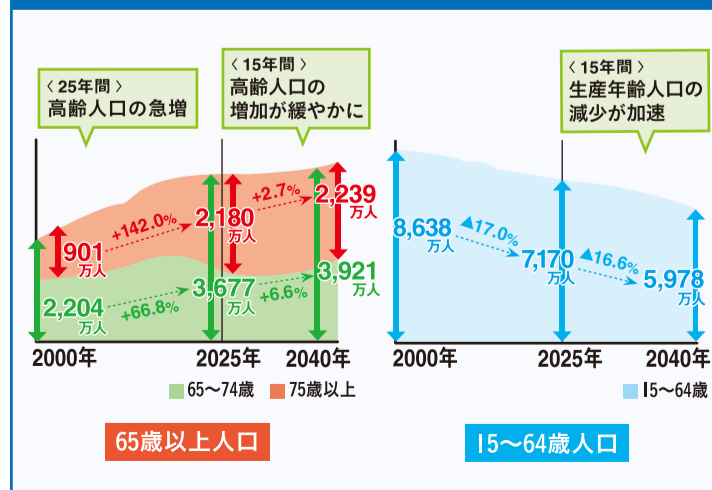
基盤となるテーマは「誰もが活躍できる社会づくり」です。このテーマを実現するために、「①高齢者をはじめとして多様な就労・社会参加を促進する」「②社会全体の活力を維持するために、健康寿命を3年以上延伸する」「③テクノロジーを活用し、医療水準や介護サービスの生産性を向上する」という3つの政策課題への対応を進めてまいります。

2040年を見据えて

「メディアでも」2025年問題」や「2040年問題」が話題になることが増えてきました。

団塊ジュニア世代が高齢者となる2040年を見通すと、社会の担い手である現役世代の減少という大きな課題がある一方、高齢者は若返りが進み就業率が上昇すると予想されます。国民の誰もがより長く元気に活躍できる社会の実現を目指し、議論を重ねていく所存です。問題に真摯に向き合っていく所存です。

2040年までの人口構造の変化



参議院議員選挙 堂故茂氏を全力応援!

2019年夏の参議院議員選挙において、自由民主党は堂故茂参議院議員を公認候補と決定した。堂故氏の必勝に向けて、田畑も全力を尽くす所存だ。「日頃から親身になってご指導いただいております。また平成29年の衆議院議員選挙では我が事のように真剣に応援していただき大変勇気づけられました。今度は私が全身全霊で応援させていただきます。」と熱く語った。

